

しながわの昔話と

組曲しながわ物語



全4回

6月20日(土)～7月18日(土) 14時～16時

対象者 区内在住・在学・在勤の16歳以上の方 50名
応募者多数の場合は抽選

参加費 2,000円 受講料1,000円/教材費1,000円…初回講義時に「しながわの昔ばなし」(品川区教育委員会発行)をご購入いただきます。

会場 中小企業センター 3階 レクリエーションホール

申込 5月25日(月)(**必着**)までに、往復はがき(1人1枚)に、
①講座名「地域講座」②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢
⑤電話番号⑥視覚・聴覚等の配慮希望の有無 をご記入のうえ、下記申込先まで。電子申請でもお申込みいただけます。
※当落発送は6月1日(月)以降の予定です。

お申込みも受講料のお支払いもらくらく電子申請で→
電子収納も利用できます!

*クレジットカード・PayPay・auPAY・d払い・楽天ペイが利用可能



電子収納の方



納付書払いの方

申込先 〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区文化観光戦略課
生涯学習係 電話03-5742-6837 Fax03-5742-6893



講師 佐山 吉孝氏

編集者/まちづくりコーディネータ

広告代理店勤務の後、1983年に有限会社インタメディアを設立。「広告制作」「編集」「美術館博物館計画」「まちづくり」を事業の4本柱とする。品川区では1987年から「グラフしながわ」の編集長を20年間務める。また1991年より品川区の依頼で、品川宿のまちづくりにコーディネータとして参加。「旧東海道品川宿周辺まちづくり計画書」を作成、品川区の景観計画を策定。品川宿景観アドバイザーを務める。2012年からは、藤岡市鬼石で築100年の商家建築を引き取り、地域活動に着手。地域紙「神流風土子」を発行。現在は主に「編集」と「コミュニティづくり」に取り組んでいる。



講師 高野 二郎氏

テノール歌手

品川区出身、在住。品川音楽文化協会会長。東京藝術大学卒業、同大学院修了。桜美林大、昭和音大、洗足学園音大、桐朋学園短大各講師。歌劇「魔笛」(タミーノ役)で新国立劇場デビュー以来新国立劇場、東京二期会等の公演に数多く出演。東宝ミュージカル「レ・ミゼラブル」に出演。読響、東フィル、新日フィル等の主要オーケストラと共演。NHKニューイヤーパーラコンサート、題名のない音楽会(テレビ朝日系列)等にテレビ出演。

音が語る しながわの記憶

東海道400年祭の時に、しながわの昔話を題材に、名誉区民で作曲家の小川寛興氏が、区からの依頼を受けて、組曲「しながわ物語」を作曲しました。初演はミュージカル、その後、吹奏楽版、オーケストラ版、合唱曲として再演されています。

しながわの昔話と共に、その音楽についても紐解いていきます。

第1回 6月20日(土) 組曲「しながわ物語」誕生の秘話と「品川宿の歴史」

- ・それは25年前の「東海道400年祭」から始まった。
- ・東海道400年祭、オープニングからフィナーレまで。
- ・オール品川区民によるミュージカルとその創作に携わった人々。
- ・題材となった「しながわの昔話」と東海道品川宿の歴史。
- ・東海道の歴史性を生かした品川宿のまちづくり。
- ・「しながわ物語」のその後と現在。

第2回 6月27日(土) 「しながわの昔話」と「しながわの歴史」

- ・テキスト「しながわの昔ばなし」全28話の内、17話が品川宿周辺の物語。
- ・組曲「しながわ物語」の構成。
- ・組曲に取り上げられた昔話とその舞台。
- ・湊町から始まった品川、たけのこの里から始まった荏原。
- ・しながわの歴史と地勢。
- ・しながわの古道と用水。
- ・組曲には取り上げられなかった「しながわの昔ばなし」。

第3回 7月4日(土) 組曲に取り上げられた「昔話の舞台」を歩く

- ・「愛の歌」から24話「大井の大仏」、「かむろ坂物語」から18話「かむろ坂」、19話「安楽寺の火中出現の庚申供養塔」、「炎の恋懺悔」から22話「鈴ヶ森遺跡と題目供養塔」。
- ・「大きな銀杏のひとり言」から23話「光福寺の大イチョウ」。
- ・江戸越えとおりゃんせ」から25話「治郎兵衛と孟宗筍」、26話「戸越八幡神社と行慶寺」。

第4回 7月18日(土) 旅立ちのとき ～Love and Peace～

- ・しながわ物語の作曲者で名誉区民である小川寛興先生の足跡を辿り、代表曲などを解説しながら鑑賞。
- ・そして、2001年「東海道400年祭」の「しながわ物語ミュージカル」から、吹奏楽版～オーケストラ版～混声合唱曲版へ発展していった組曲「しながわ物語」の魅力に迫り、代表曲の「旅立ちのとき」を歌う。